

「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

第30期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

平成18年4月1日～平成19年3月31日

株主の皆様へ Message from the President

ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
当社は平成18年11月14日、東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。
これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。
「長期安定的な企業価値の向上」を目指してまいりますので、
今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 野崎 誠

「長期安定的な企業価値の向上」を目指して

当社の社訓は「人の生命は限りがある。会社の生命を永遠のものにして、次の時代のための礎となろう。」であり、「長期安定的な企業価値の向上」が経営の基本方針であります。
この実現に向けて「お客様が本当に欲しいと思われる商品を、気持ちよく買っていただくこと」を基本方針として靴作りを行っております。品質を守りながら、気軽に履ける価格設定で商品開発を行い、お客様に「驚き」、「楽しさ」、「満足感」をお届けできるよう社員一丸となって取り組んでおります。
この取り組みによって、お客様から支持をいただき、長期安定的な企業価値の向上を実現してまいります。

(注) この株主通信は、株主の皆様により一層当社グループをご理解いただくため、当社および連結子会社を含めた連結の決算数字をもとに記載しております。

CONTENTS

株主の皆様へ	01
TOPICS	03
CSRコミュニケーション／商品のご案内	04
営業の概況	05
事業部門別の概況	07
連結財務諸表	09
財務諸表（単体）	11
株式情報	13
会社情報	14

中期事業戦略

成長性に重点を置きながら、新規ビジネスに挑戦し、同時に収益力の強化を目指します。

中期事業戦略目標

営業利益率6%を目指します。

事業戦略

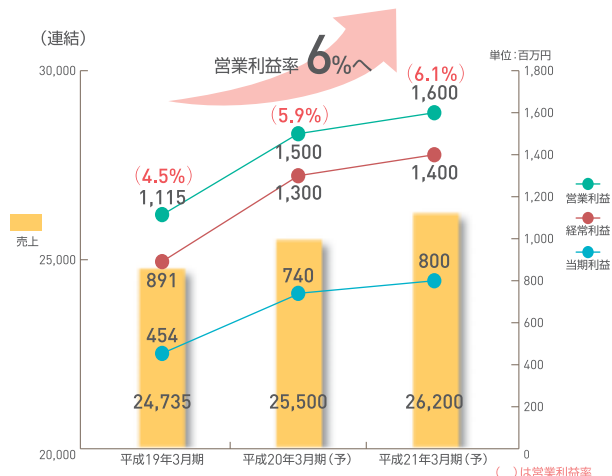
●靴のマーケットシェアの拡大

- ・商品力強化による直販（通信販売・店舗販売）事業の拡大
- ・OEM生産の拡大による卸販売事業の拡大

●新しい取り組み

- ・価格帯、クオリティのワンランク上の商品マーケットへの参入
- ・靴のレディース専門店の展開
- ・新事業への挑戦「通販事業ソリューション提供ビジネス」

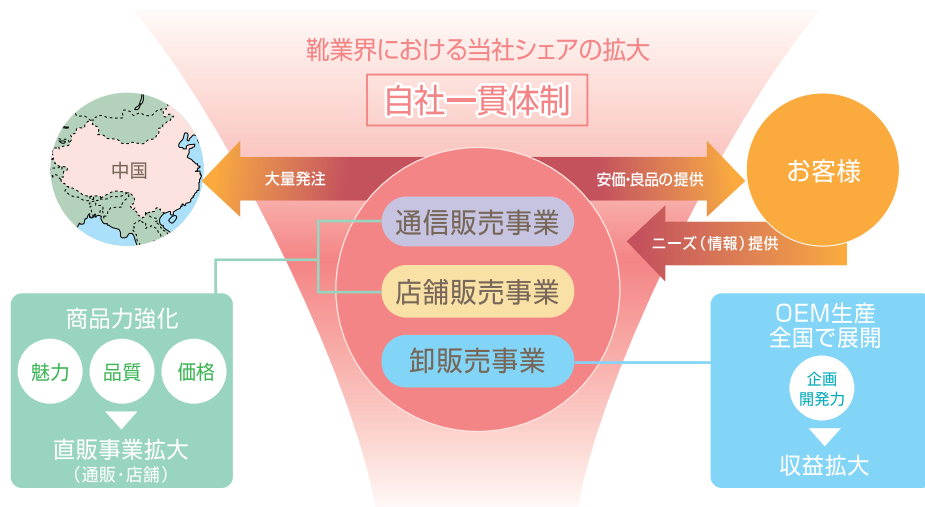
事業計画



ヒラキのビジネスモデル

中国を中心とした生産体制と通信販売事業をベースとした販売力による自社一貫体制が特長。

商品力強化によって通信販売事業の拡大を図るとともに、生産インフラを活用して、店舗販売、卸販売事業の拡大を目指しております。





TOPICS

靴のマーケットにおける当社のシェア拡大を図るため、 「靴事業推進部」を新設【平成19年2月】

通信販売事業、店舗販売事業および卸販売事業の靴販売戦略を会社横断的に行うために、全社の靴部門を統括する「靴事業推進部」を新設いたしました。これまで3つの事業部門が培ってきた経験や情報を活用して独自に商品開発を行ってきましたが、「靴事業推進部」の新設によって全社の靴の商品開発・販売戦略の構築を1つに集約いたします。これにより、当社の靴業界におけるマーケットシェア拡大を目指します。



20代の働く女性のための 「I'll be style」創刊【平成18年10月】

20代の『働く女性』をターゲットに、かわいく&かっこよくをコンセプトとした、ブーツやパンプス、ジャケットやバッグなど、豊富なアイテムをご用意。さらに、「I'll be style」という名称通り、『なりたい自分になる』『自分流スタイル』のイメージを喚起させる、多くのコーディネートを提案する「I'll be style」を創刊いたしました。また、WEBサイト「<http://club-ilb.com>」を開設し、オンラインショッピングを展開しております。



業務提携 (コールセンター業務など)【平成19年2月】

自社一貫体制を活用した靴の販売力の拡大や、今後他社通販会社向け業務ソリューションを提供する事業戦略構築に向け、コールセンター業務ならびに人材派遣業務について戦略的業務提携を株式会社パソネックス(代表取締役社長:大倉輝久、本社:大阪府泉佐野市)と行いました。また、当社の持つノウハウとインフラ活用、パソネックスの持つコールセンター業と人材派遣業を活かし、共同してメーカー等への通信販売の業務支援の事業化も視野に入れております。

上場記念配当の実施および 上場記念シューズの発売

株主様へ感謝の意を表すため、1株当たり5円の記念配当を実施。さらに、上場記念「カジュアルシューズ」を380円(税込)で限定50万足発売いたしました。



新作シューズを動画で紹介 「HIRAKI TV」開設

できる限りお客様にヒラキの靴を身近に感じていただきたいという想いから、「HIRAKI TV」を開設。お客様に映像を通してヒラキシューズの良さをお伝えします。





CSRコミュニケーション

「靴供養」を執り行いました。【平成18年9月】

お客様と靴へ感謝の気持ちを持って、環境保護に少しでも役立つことを目的として、9月2日、延応寺住職様のご協力のもと、「靴供養」を執り行いました。数多くのお客様よりお預かりした靴3951足を供養するとともに、お預かりした金額118,530円を朝来市社会福祉協議会に寄付いたしました。「靴供養」は各店舗にて引き続き承っておりますので、ご不要になった靴がありましたらお持ちください。



ヒラキ靴短冊大賞では作品を募集しております。

なかなか捨てられない、思い出の詰まったお気に入りの靴。その靴への気持ちを短冊に。そして「靴供養」でぜひ見送ってあげませんか？

テーマ

靴への感謝の気持ちを自由に表現した“短冊”を募集。長く愛用した靴への感謝の言葉や、靴にまつわる様々な思い出など自由な表現（作文、ポエム、川柳など）でご応募ください。（最大400文字）

応募期間 | 平成19年6月1日(金)～7月31日(火)

応募方法など詳しくは ▶ <http://92tanzaku.jp/>
主催:ヒラキ株式会社／協賛:朝来市、ヨーデルの森

大賞賞金
100万円!



商品のご案内

平成18年4月～平成19年3月に発売したおすすめのアイテムを一部ご紹介します。

ファミリー対象

EXCITING PRICE

2006年4月刊行(6月号)～07年3月刊行(5月号)のカタログの表紙を飾った商品をピックアップしております。



レディース
ウェッジヒールサンダル
¥648 (税込¥680)

メタリック素材が夏を演出。ストーンアップがオシャレなレディースサンダル。



サマーカジュアルシューズ
(レディース&メンズ)
¥458 (税込¥480)

サンダルタイプのスポーティな装いと心地よいフィット感が特長のカジュアルシューズ。



デイリー秋シューズ
(レディース&メンズ)
¥458 (税込¥480)

やわらか素材で歩きやすく、秋のスタイルに合わせやすいカジュアルシューズ。



レディーススエード
カジュアルシューズ
¥553 (税込¥580)

巻きモカ仕上げのこだわりデザイン。秋色5色をラインナップしたカジュアルシューズ。



レディース2Wayブーツ
¥648 (税込¥680)

リボンの取り外しや折り曲げができて、いろんなスタイルが楽しめるカジュアルブーツ。



レディースカジュアルシューズ
¥458 (税込¥480)

柔らかかかとでゆったり履き・びったり履きが可能。新感覚のちよい履きスニーカー。



上場記念カジュアルシューズ
(レディース&メンズ)
¥362 (税込¥380)

品質・デザインにこだわりながらも価格は「380円」。50万足限定販売。



レディースカジュアルシューズ
¥553 (税込¥580)

8色の豊富なカラーバリエーション。履き心地も抜群の春のカジュアルシューズ。





営業の概況 Business Result

長期的な視野で事業基盤の構築を図り、収益力の強

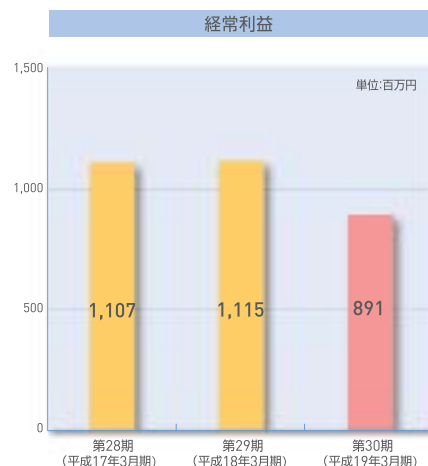
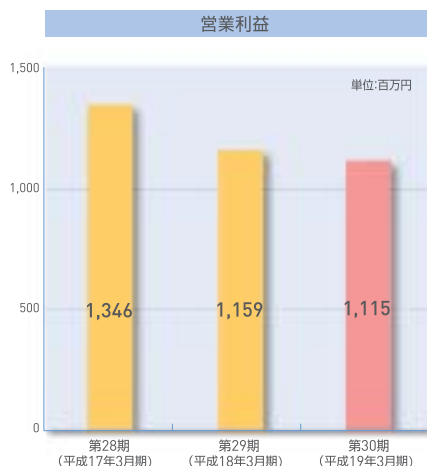
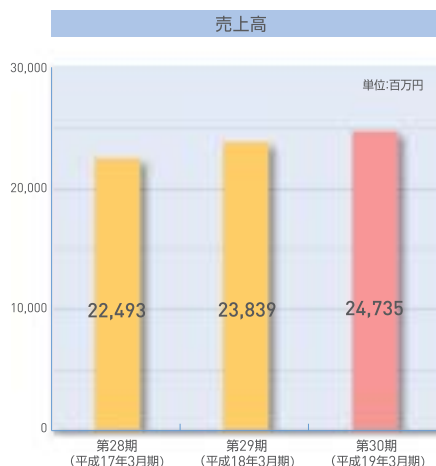
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加など景気は堅調に推移し、個人消費は、堅調な企業業績を背景に雇用情勢の改善が進みつつあり、改善傾向が見られるようになりました。

靴業界におきましては、異業種からの参入や出店競争によって競争は激化しており、また、通信販売・店舗小売業界は、多店舗出店や異業種参入が続く中で、特長ある専門性の高い企業がお客様に支持され、好調な業績で推移しております。

このような経営環境の下、当社グループは「靴・履物」の専門性を高めることに重点を置き、「商品力(魅力・価格・品質)」を強化し、「お客様が本当に欲しいと思われる商品を気持ちよく買っていただくこと」を基本方針として靴作りに取り組みました。この結果、480円シューズ、680円サマーカジュアルシューズ、680円ミュール、380円カジュアルシューズなどのシューズ商

品やカテゴリーの強化として取り組んでいる衣料が販売好調であったことから、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は過去最高となる247億3千5百万円(前年同期比3.8%増)となりました。利益面では、主力の通信販売事業が売上好調による増益となり、会社の業績の牽引役となり堅調に推移いたしました。しかしながら、特殊要因として早期黒字化を目指してきたカード事業におきまして、昨年12月に単月黒字を実現したものの、貸金業規制法の改正等の影響によって今後の事業環境が厳しくなると予想されることから事業撤退を決定し、この影響として営業貸付金等の譲渡損失見込額として貸倒引当金に2億1千2百万円を繰入したため、営業利益は11億1千5百万円(前年同期比3.8%減)となりました。経常利益は、有利子負債の減少や金利低減によって支払利子が減少したものの、時価会計を適用しております金利スワップ

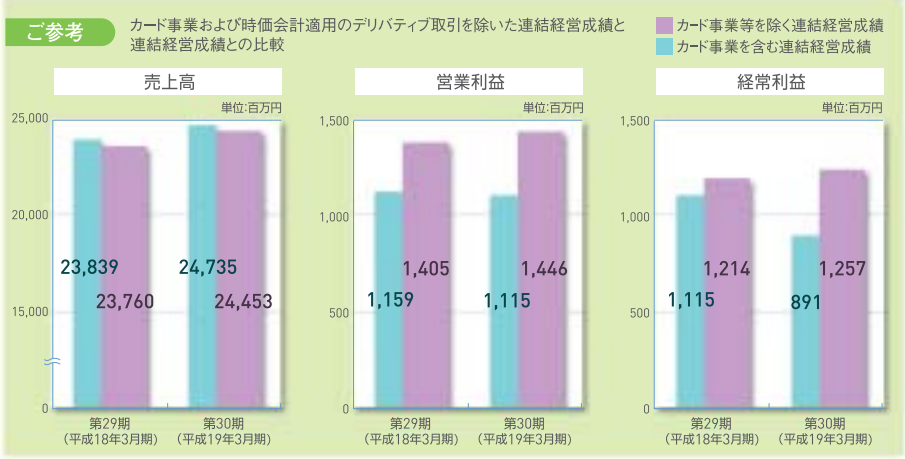
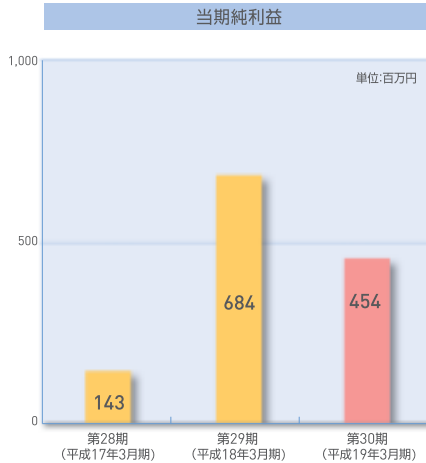


化を推進。

売上高は247億3千5百万円と過去最高を記録。
今後はヒラキの強みである靴の開発力の強化に取り組み、収益拡大を目指します。

におきまして前連結会計年度末と比較して金利水準が低下したことからデリバティブ関連損失3千5百万円が発生したため、経常利益は8億9千1百万円（前年同期比20.1％減）となりました。なお、金利スワップ取引は金利上昇ヘッジを目的として想定元本20億円（特殊処理した金利スワップ取引を除く）を契約しておりますが、今回の損失は評価損益によるものでキャッシュ・フローへの影響はございません。当期純利益は、カード事業撤退に伴う事業資産の減損処理を1億8百万円行ったため、4億5千4百万円（前年同期比33.6％減）となりました。

なお、事業撤退を決定いたしましたカード事業ならびに評価損益のみの影響である時価会計を適用しているデリバティブ取引を除いた経営成績を試算いたしますと、売上高は244億5千3百万円（前年同期比2.9％増）、営業利益は14億4千6百万円（前年同期比2.9％増）、経常利益は12億5千7百万円（前年同期比3.5％増）となりました。



対処すべき課題

当社は「長期安定的な企業価値の向上」を経営の最重要課題と考えており、「強いところをより強く」することを戦略の重点においております。この方針に基づき、当社の強みである「靴を中心とした自社企画商品力」、「価格の安さ」、および「通信販売を中心とした多彩な販売手法」をより強化してまいります。

- 1 多くのお客様に気軽に履いていただける靴の開発強化
 - 1) 低価格商品の強化
 - 2) 顧客層の拡大
 - 3) インターネットによる販売の強化
 - 4) 「安さ」を支えるローコストオペレーションの強化
- 2 靴に関連する事業の強化
 - 1) 靴事業推進部の新設による靴の販売力強化
 - 2) ワンランク上の商品の拡大
 - 3) 卸販売事業の拡大
 - 4) 強みの業務の事業化と事業拡大に向けた人材確保・教育
- 3 靴のマーケットとの関わりの強化
 - 靴関連事業から派生する新たなビジネスへの挑戦



事業部門別の概況 Business Result

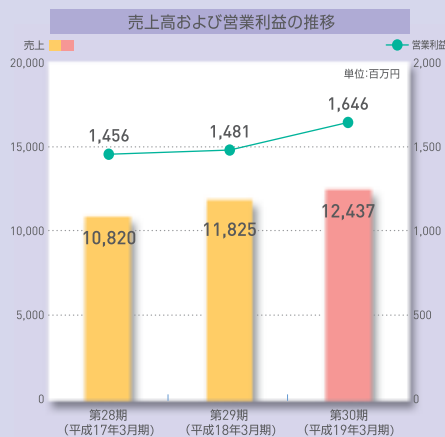
商品力の強化により、通信販売・卸販売事業で過去最

通信販売事業

通信販売事業におきましては、「靴・履物」の商品力強化に加え、カテゴリーの強化として取り組んでいる「衣料」の商品力強化を行うとともに、カタログ・チラシやインターネットの販促媒体を強化いたしました。この結果、売上高は過去最高となる124億3千7百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は16億4千6百万円（前年同期比11.2%増）となりました。



カタログなど



店舗販売事業

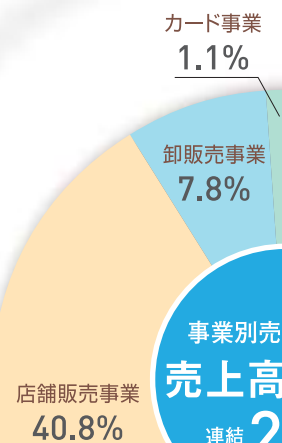
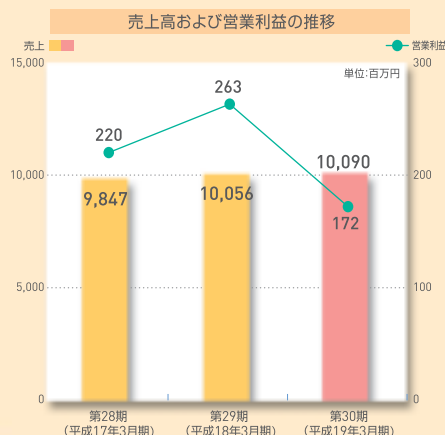
店舗販売事業におきましては、「靴・履物」の品揃えを行ってまいりました結果、集客力が高まりました。集客力を高めるために、売上総利益率の低い商品のシェアが高まったことに加え、将来の店舗販売事業強化のために人員の増加を行っており、集客面で効果は得られたものの、営業利益は減少いたしました。この結果、売上高は100億9千万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は1億7千2百万円（前年同期比34.5%減）となりました。



岩岡店 (神戸市西区)



岩岡店 靴売場



高の売上高を達成。

上構成比

平成19年3月期

47億円

通信販売事業

50.3%

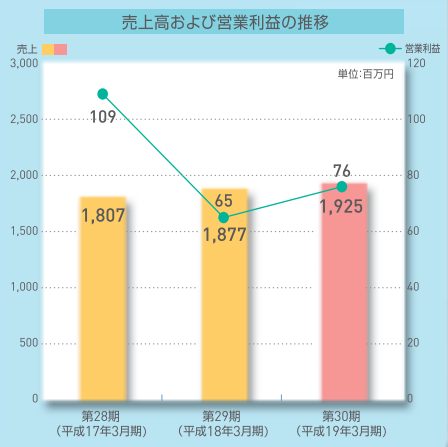
卸販売事業

卸販売事業におきましては、商品企画力を強化してきました結果、大手量販店、専門店向けの取引が拡大するとともに売上総利益率の改善が進みました。この結果、売上高は過去最高となる19億2千5百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は7千6百万円（前年同期比17.0%増）となりました。



神戸営業所（神戸市須磨区）

東京ショールーム（東京都新宿区）

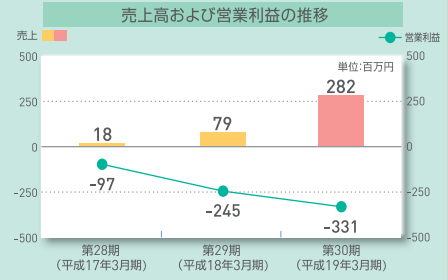


カード事業

新カードについて

カード事業につきましては、平成19年4月2日開催の取締役会において、平成19年6月30日をもって撤退する旨を決議しております。
また、株式会社ライフと提携し、平成19年6月20日からポイント機能付提携カード「ヒラキライフカード」の会員募集を開始しております。

カード事業におきましては、通信販売事業の顧客を対象としたカード会員獲得を重点的に実施してまいりました結果、カード会員が順調に増加し、会員数は10万人を超え、融資残高も13億1千2百万円となりました。昨年12月の貸金業規制改正等の影響によって事業の先行きに問題が発生したことから、事業の撤退を決定し、営業貸付金等の譲渡損失見込額として2億1千2百万円を貸倒引当金に計上いたしました。この結果、売上高は2億8千2百万円（前年同期比256.8%増）、営業損失は3億3千1百万円（前年同期は営業損失2億4千5百万円）となりました。



「ヒラキライフカード」



連結財務諸表 Consolidated Financial Statement

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期
【資産の部】		
流動資産	9,279	8,453
現金及び預金	1,142	1,188
受取手形及び売掛金	1,571	1,408
営業貸付金	1,312	419
たな卸資産	5,102	5,220
その他	404	298
貸倒引当金	△254	△81
固定資産	8,398	8,820
有形固定資産	7,915	8,125
建物及び構築物	4,106	4,255
土地	3,636	3,636
その他	172	233
無形固定資産	190	323
投資その他の資産	292	371
投資有価証券	31	43
その他	261	327
貸倒引当金	△0	—
資産合計	17,677	17,274

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期
【負債の部】		
流動負債	5,760	6,145
買掛金	1,254	1,256
短期借入金	200	1,500
一年以内償還予定の社債	200	—
一年以内返済予定の長期借入金	2,557	1,890
賞与引当金	138	127
その他	1,409	1,370
固定負債	7,555	8,434
社債	—	200
長期借入金	7,466	8,089
その他	89	144
負債合計	13,315	14,579
【資本の部】		
資本合計		2,694
負債及び資本合計		17,274
【純資産の部】		
株主資本	4,297	
評価・換算差額等	64	
純資産合計	4,361	
負債及び純資産合計	17,677	

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期
売上高	24,735	23,839
売上原価	14,730	14,454
売上総利益	10,005	9,384
販売費及び一般管理費	8,889	8,224
営業利益	1,115	1,159
営業外収益	35	171
営業外費用	259	215
経常利益	891	1,115
特別利益	5	623
特別損失	114	666
税金等調整前当期純利益	782	1,073
法人税、住民税及び事業税	385	202
法人税等調整額	△57	186
当期純利益	454	684

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	174	1,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126	1,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95	△1,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	3
現金及び現金同等物の増加額	△47	666
現金及び現金同等物の期首残高	1,187	520
現金及び現金同等物の期末残高	1,139	1,187

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
平成18年3月31日残高	431	151	2,320	△217	10	2,694
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当			△27			△27
利益処分による役員賞与			△11			△11
当期純利益			454			454
自己株式の処分		978		217		1,196
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					54	54
連結会計年度中の変動額合計	—	978	416	217	54	1,667
平成19年3月31日残高	431	1,129	2,736	—	64	4,361



財務諸表（単体） Unconsolidated Financial Statement

貸借対照表

（単位:百万円）

	平成19年3月期	平成18年3月期
【資産の部】		
流動資産	9,149	8,322
現金及び預金	997	1,037
受取手形	17	20
売掛金	1,554	1,387
営業貸付金	1,312	419
商品	4,895	4,931
その他	626	607
貸倒引当金	△254	△81
固定資産	5,041	5,395
有形固定資産	4,299	4,439
建物及び構築物	2,311	2,389
土地	1,816	1,816
その他	171	232
無形固定資産	190	323
投資その他の資産	551	632
投資有価証券	29	41
関係会社株式	3	—
その他	519	590
貸倒引当金	△0	—
資産合計	14,191	13,717

（単位:百万円）

	平成19年3月期	平成18年3月期
【負債の部】		
流動負債	5,509	5,897
買掛金	1,254	1,256
短期借入金	200	1,500
一年以内償還予定の社債	200	—
一年以内返済予定の長期借入金	2,379	1,712
賞与引当金	136	125
その他	1,339	1,303
固定負債	4,466	5,166
社債	—	200
長期借入金	4,377	4,821
その他	89	144
負債合計	9,976	11,063
【資本の部】		
資本合計		2,653
負債及び資本合計		13,717
【純資産の部】		
株主資本	4,150	
評価・換算差額等	64	
純資産合計	4,215	
負債及び純資産合計	14,191	

損益計算書

(単位:百万円)

	平成19年3月期	平成18年3月期
売上高	24,734	23,839
売上原価	14,745	14,468
売上総利益	9,988	9,370
販売費及び一般管理費	9,106	8,363
営業利益	881	1,006
営業外収益	25	171
営業外費用	197	147
経常利益	709	1,030
特別利益	5	623
特別損失	113	647
税引前当期純利益	600	1,006
法人税、住民税及び事業税	306	172
法人税等調整額	△54	188
当期純利益	348	645
前期繰越利益		163
当期末処分利益		809

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
平成18年3月31日残高	431	151	2,279	△217	10	2,653
事業年度中の変動額						
剰余金の配当			△27			△27
利益処分による役員賞与			△11			△11
別途積立金の積立			—			—
当期純利益			348			348
自己株式の処分		978		217		1,196
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					54	54
事業年度中の変動額合計	—	978	310	217	54	1,561
平成19年3月31日残高	431	1,129	2,589	—	64	4,215



株式情報 (平成19年3月31日現在) Stock Information

株式の状況

発行済株式の総数	5,040,000株
株主数	3,022名

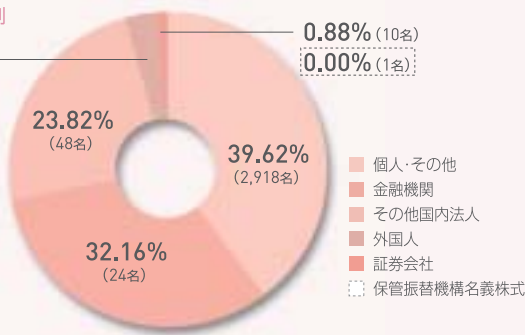
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社マヤハ	752	14.92
ヒラキ従業員持株会	291	5.79
神戸信用金庫	251	4.98
株式会社みなと銀行	211	4.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	195	3.87

株式分布状況【株式数比率(株主数)】

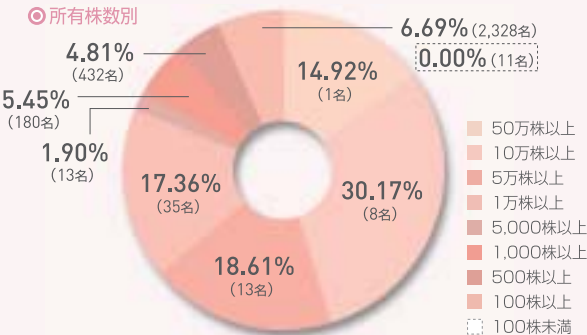
所有者別

3.46%
(21名)



所有株数別

4.81%
(432名)
5.45%
(180名)
1.90%
(13名)





会社情報 Company Information

会社概要（平成19年3月31日現在）

社名	ヒラキ株式会社 (HIRAKI CO.,LTD.)
設立	1978年4月22日
本社所在地	〒651-2494 神戸市西区岩岡町野中字福吉556 ※平成19年7月2日より、本社が移転いたします。 新住所： 〒650-0027 神戸市中央区中町通 2丁目1番18号 日本生命神戸駅前ビル12階
資本金	4億3,100万円
従業員数	229名（パート・アルバイト除く）

役員（平成19年3月31日現在）

取締役および監査役

代表取締役	野崎 誠	最高執行責任者 ヒラキ不動産管理有限公司 代表取締役
取締役	向畑 達也	営業本部管掌 上海平木福客商業有限公司 董事長
取締役	岡崎 守隆	経営企画室長
取締役	今本 清治	現業支援本部長兼経理部長
常勤監査役	伊原 英二	
監査役	朝家 修	公認会計士・税理士朝家事務所 代表
監査役	松田 陽三	神戸信用金庫 専務理事

執行役員

社長執行役員	野崎 誠	最高執行責任者
副社長執行役員	向畑 達也	営業本部管掌
専務執行役員	梅木 孝雄	営業本部長
常務執行役員	岡崎 守隆	経営企画室長
常務執行役員	今本 清治	現業支援本部長兼経理部長
常務執行役員	錦戸 美隆	店舗販売事業部担当
上席執行役員	松添 晃明	プロジェクト・システム室長
執行役員	埜邨 敬和	店舗販売事業部長

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター(〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

【お知らせ】

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページでご請求いただけます。
フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付)
ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

公告掲載方法 電子公告 <http://company.hiraki.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待特典のお知らせ

毎年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社商品券(2,000円相当)を贈呈いたします。
※当社商品券は当社通信販売および店舗にて使用できます。
※贈呈時期は8月中旬頃発送の予定であります。

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先/経営企画室]
神戸市西区岩岡町野中字福吉556 〒651-2494
TEL:078-969-3090 FAX:078-969-3093
●なお、平成19年7月2日付で下記へ移転いたします。
神戸市中央区中町通2丁目1番18号 〒650-0027
日本生命神戸駅前ビル12階
TEL:078-362-1130 FAX:078-362-1198
ホームページ
<http://company.hiraki.co.jp>